

『WBCメキシコ戦で見た理想のリーダーシップ』

【元プロ野球選手・コーチ・解説者】 白井一幸

年末年始は2023年のワールド・ベースボール・クラシック (WBC)のシーンがテレビで多く放映されました。ご覧になった方も多かったのではないかと思います。

私が最も印象に残ったシーンは、準決勝・メキシコ戦の9回裏のサヨナラの場面。ノーアウト1、2塁で、村上宗隆選手がヒットを打ち、フォアボールの吉田正尚選手に代って1塁に入った周東佑京選手が一気に本塁まで駆け抜けた時です。2塁には大谷翔平選手がいて、私は3塁コーチャーに入っていました。点差は1点、絶対に冒険はできないケースです。120%じゃないと(ランナーを本塁に)回してはいけない。大谷選手とも安全にいこうと打合せをしていました。そこで村上選手が苦しんだ中でセンターオーバーのヒットを打ちました。大谷選手はハーフウェー(塁と塁の中間)からタッチアップできる体制でした。私はメキシコのセンターのクッションボールの処理と大谷選手の動きを見ていました。クッションボールの処理は完璧。大谷選手がそれを見て走り出しました。周東選手は前のランナーの判断を見て走塁を緩めているだろうから「ここは止めよう」と思っていました。しかし大谷選手を回しながら周東選手を見ると、既に大谷選手のすぐ後ろにいます。驚きました。この時、私の後ろから「回せ回せ」と声が聞こえました。選手全員が周東選手に3塁から本塁に回るように腕を回していたのです。私はよくこのシーンを「30人のランナーコーチャーがいた」と話しています。ベンチから全員が飛び出して、全員が行け行けゴーとやったことなどこれまでありません。でも、これは素晴らしい!みんな、村上選手が苦しんでいるのを見ていた。周東選手がどんな思いで代走に行ったかを知っていたんです。気が付いたら全員がベンチを飛び出して必死になって手を回している。これこそ全員がリーダーシップを発揮する組織です。よい組織というのはそういうもの。役割、責任は全員にある。立場や年齢は違えど、それぞれの立場でそれぞれがチームのゴールに向けてやるべきことをやり切る。ここに一体感が生まれ、感動が生まれるのです。侍ジャパンは誰もが言いたいことを言い合える雰囲気がありました。リーダーはこうした雰囲気をつくるのが大事。皆さんの会社はどうでしょうか。一度振り返ってみてください。(月刊「日経トップリーダー」2月号より抜粋させて頂きました)

ワールドベースボールの試合は、私もテレビで観ていてとても感動しました。みんなの心が一つになった時、大きな力となって素晴らしい奇跡が起こるんですね。

山下久人



『より良い働き方』

【代表取締役社長】山下信之



先日、千葉県が選択的週休3日制を導入し6月から開始するという記事を読みました。どんどん時代が変化していると感じました。一昔前は、残業、休日出勤が当たり前でたくさん働いている人が凄いか、日本人が休まず働くことが美德とかの時代が懐かしく、私も昔は徹夜で働いたこともしばしば…。時代の変化に合わせなければ会社は生き残れませんが、近江商人の経営哲学の一つとして『三方よし』が広く知られています。商売において売り手と買い手が満足するのは当然のこと、社会に貢献できてこそよい商売と言える。お客さん、従業員に喜んでもらい、社会の役に立つ会社であるには、国が決めたルール、法律などに合わせて、変化に応じて、利益を出す会社にしなければならない。

増田運輸(株)の社長さんが、「経営者の仕事は、儲からない仕事を儲かるようにするのが経営者の仕事だ」と、倫理法人会の講演会でお話しされていたのを思い出しました。一見、トンチのようなこの言葉ですが、私はその通りだと物凄く共感致しました。どんな時代も困ったことを解決する。それが商売になる。時代に合わせる事が、社会に繋がると感じました。



新人紹介

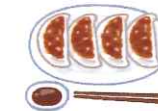
“頑張ってます!”



【ビナさんより一言】



- 名前: バスネット・ビナ
- 入社日: 2024年1月24日
- 出身地: ネパール
- 好きな食べ物: ギョウザ
- 好きな色: ホワイト
- 趣味: 写真を撮ることです
- 長所: 仕事を一生懸命やること



みなさん、はじめまして。  
私はバスネット・ビナと申します。  
2024年1月にネパールから日本に来ました。  
日本のシステム技術と環境が好きです。  
同僚に同じネパールの方がいて心強いです。  
みなさんに色々と教えて頂きながら、  
がんばりますのでよろしくお願い致します。

ほっこりなかよし家族



◆免疫力UP食品 ♪健康に良い納豆をおいしく食べましょう!

【納豆と一緒に食べると相乗効果でより健康UPになる食品を調べてみました】



- ①納豆+ネギ (又は玉ねぎ)・・・血栓予防。脳梗塞、心筋梗塞のリスクを下げます。  
夜は1日の中でも血栓ができやすい時間帯と言われるので、夕食時に食べるのがおススメです。
- ②納豆+キムチ・・・納豆菌と乳酸菌で腸内環境を改善します。  
免疫細胞は7割が腸にいますと言われるので、腸から健康に! チャーハンにするのもおススメです。
- ③納豆+卵・・・たんぱく質が豊富で血管にも良い。不足すると筋肉量不足になります。  
1日に必要なたんぱく質量…体重50kgの場合、60~75g必要となりますが、納豆7g+卵6gで約13gのたんぱく質が取れます。
- ④納豆+メープルシロップ・・・炎症をおさえる効果、老化予防。花粉症対策にも。  
納豆は味・健康・値段・手軽さでおススメの食品です。  
メープルシロップは抗酸化物質のポリフェノールが含まれているので積極的に取りましょう。



【◆気軽にツボ押し/せき止めのツボ】

- ①天突(てんとつ)  
※鎖骨の間のくぼみ  
人差し指で心地よい強さで斜め下に押す。  
息を吐いて3秒押して、息を吸って3秒間で離す(10回位行って下さい)



- ②尺沢(しゃくたく)  
※ひじを曲げるとできる内側のしわの上、中央から指2本位親指側のツボです。

親指で、いた気持ちよい強さで押しもみしながら3秒×10回



【今月の詩 ◆ 二宮尊徳の道歌】



「父母(ちちはは)も その父母も 我が身なり  
われを愛せよ われを敬せよ」

あなたの命はあなた1人のものではない。父母、その父母と幾世代にもわたり、連綿と続いてきた命。その命の炎が一度も途切れることなく続いてきたからこそ、あなたの命がある。あなたの身体の中には幾百万、幾千万という先祖の連綿たる命の炎が燃えている。そういう尊い命の結晶が自分であることに深い思いをさせ、自分を愛し、自分を敬うような生き方をしなければならない。



雪で作ったトトロのかまくらを見つけ思わずパチリ♪  
【2/6 南行徳にて】

【編集後記】

2月5日午後から6日にかけて、関東でも雪が降りました。都市部では雪が降ったあと必ず起こるのが転倒事故ですが、それでも真っ白な雪が降る様子を眺めたり、降りたての雪を踏みしめ「ザクッ、ザクッ」という感触が楽しくて、やっぱり雪はうれしいものです。  
変わって2月15日、春一番が吹き、本格的な花粉シーズンが始まりました。この時期は手ごわい花粉症と激しい寒暖差で体調管理が難しいですが、春の花や草木から元気をもらって、私達も元気に過ごしていきましょう。皆さんも身近な出来事を是非ピッカリニュースにお寄せ下さい。お待ちしております。(戸佐)